さかわ町議会

Vol.99
2024.8.1
発行 高知県佐川町議会
６月定例会号

ミチナキミチヲキリヒラク。

今回の表紙：自伐林業の作業道敷設

林業の仕事現場・P2
「自伐林業の取組み」

令和６年度補正予算.....P３
議会懇談会報告.....P６
６月定例会：一般質問に８人..P８
特集記事「人口減少の動き２」.P18
地域でがんばる「やまぼうし」さん・P20

佐川町の自伐型林業（じばつがたりんぎょう）への取り組みについて

今月の表紙は、佐川の山々で町で活躍している自伐型林業家（キコリンジャー）。
町中からは見えない彼らの主な仕事に焦点をあて、紹介します。

① 作業道づくり

山の斜面に道をつくる仕事は、原野を開拓するような作業で奥が深い。

自伐型林業では、山へのダメージや影響をできるだけ少なくするために道幅も最小限にして、山に優しく災害に強い道づくりを基本にしている。

そんな作業道を高密度で山につくっていくことにより、管理がしやすく、すぐに木を市場へ出せるようにしていく。

岩を掘り出し、切り株を引き抜き少しずつ進んでいく

倒す方向、搬出を考えながら切り倒していく

② 間伐（かんばつ）

自伐型林業では、50年後・100年後に価値ある山づくりを目指している。

基本的には皆伐（かいばつ）（作業区域全部の木を切ること）をせずに大きく太い木を育てていくために、間伐（間引き）を繰り返していく。

どの木を残し、どの木を伐るか、いつも悩みながら木々と向き合っている。

③ 搬出（市場へ）

間伐作業によって伐採した木は、主に市場へ出荷する。

まっすぐで良い木材は建築用材などに使用され、それ以外の木材はチップ材や木質バイオマス発電の燃料として使われる。

【佐川町へ林業を志してきた人たち】

10年前に、佐川町は自伐型林業推進のため、地域おこし協力隊の募集を始めました。募集に応じ、遠くは北海道や沖縄から、林業を通じて佐川町へ移住しました。10年間の合計は39人です。

佐川町へ来る前の職業はそれぞれ違い、中には出版社・鍼灸師・IT系など、本当に様々な背景から林業を志して佐川町へ集結してきています。

「林業を通じた様々な活動紹介など」

より多くの方々に森を身近に感じてもらいたいという気持ちで、普段の林業の仕事に加えて、各自が得意分野を活かして、活動をしています。

厳しい自然環境の中で佐川町の山々を、水をまもるため、持続可能な取り組みをしている林業家のみなさん、今後ともよろしくお願いします。

佐川のマキ、まきのまき

間伐材を利用した木のスツールづくり

道の駅芝生広場のベンチ

小学生への木育授業で清々しい山林歩き

一般会計　６月補正予算
１億1,745万円の増額補正を可決

６月定例会は、６月７日から１３日までの会期で開かれました。

報告４件、承認案２件、令和６年度の補正予算をはじめ、条例改正、契約締結など、議案１４件を審議し、採決の結果、全件を可決しました。

令和６年度６月補正予算

会計名		補正額	補正後の額
一般会計		1億1,745万2千円	92億8,473万円
特別会計	国民健康保険	5万2千円	17億9,807万2千円
	介護保険	351万8千円	18億5,911万3千円
	後期高齢者医療	△5万8千円	2億6,617万4千円

条例の制定

佐川町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正

地方自治法の改正に伴い引用規定の改正を行う。

佐川駅前宿泊交流施設の設置及び管理運営に関する条例を廃止

宿泊交流施設として利用してきた駅前ビルの解体に伴い廃止。

佐川町お試し滞在施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正

使用期間を原則として「3日から1ヵ月以内」としていたものを「3日から7日以内」に変更。

佐川町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正

令和5年度の放課後児童クラブの新築に当たり、定員の見直し、職員の資格要件などを国の基準に合わせ見直しを行い、国基準に合わせ、所要の改正をするもの。

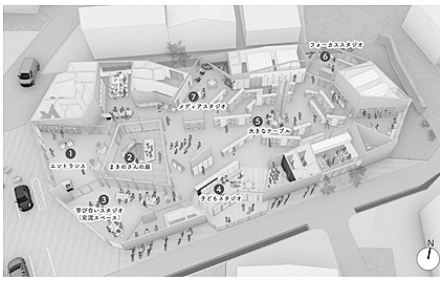
佐川町放課後児童健全育成事業実施条例の一部を改正

学校の代休日等の閉校日であっても放課後児童クラブ（ナウマンクラブ）を開所するように改正。

工事請負契約

工事請負契約の変更契約の締結（佐川町立図書館）

令和5年6月8日付で、株式会社岸之上工務店と請負契約を締結し、請負金額を変更するもの。



工事請負契約の締結（久万田堰農業水路等長寿命化事業改修工事）

令和6年6月3日一般競争入札予定。

計画策定

尾川・加茂辺地に係る総合整備計画の変更について

辺地対策事業債の借入に必要な整備計画の変更を行うもの。

補正予算 PickUp ここに注目！

価格高騰重点支援給付金事業 7千660万3千円

低所得者支援及び定額減税を補足するもので、R6住民税非課税世帯などへの給付金支給に要する経費

【非課税・均等割のみ課税世帯】
1世帯10万円

【子ども加算】
18歳以下の子1人につき5万円

【調整給付】
納税義務者及び扶養親族1人につき最大4万円

私立保育園への補助事業 823万1千円

障害児保育、一時保育促進、低年齢児保育促進事業などについて、対象児の増加により補助金を追加

佐川町道の駅事業 653万1千円

まきのさんの公園内の芝生広場法面改修や遊具下の水溜まり対策工事費などを計上

令和6年度 一般会計補正予算の質疑

橋元議員

問 総務費の物価高騰対策の重点支援給付金の具体的な交付の中身と、予算執行のスケジュールは。

真辺住民課長 物価高騰対策費のR6年度非課税化・均等割給付金3千万円、R6年度新たに非課税化均等割だけの課税の世帯を対象とし、1世帯当たり10万円、300世帯を見込んでいる。

調整給付金4千万円は、本年度実施する定額減税で所得税から3万円、住民税から1万円を減税する。一人平均4万円で1千人を対象としている。実施時期は7月から3カ月かけて支払いを終了する見込みだ。

岡崎健康福祉課長 価格高騰重点給付金の子ども加算分は、R6年度新たに対象となる世帯の18歳以下の子ども一人当たり5万円を加算して支給する。50人を想定しており、実施時期は7月をめどに開始する。

西森議員

問 人口減少プロモーション委託料201万3千円の委託先と委託内容は。

コミュニティ助成事業補助金230万円の内容と交付先は。

岡田まちづくり推進課長 人口減少プロモーション委託料は、子育て支援を含む福祉分野、教育、移住促進など人口減少対策につながる事業を、映像、パンフレットなどにまとめ、移住相談会や、県内大学へPRして移住促進や町内の若い方への定住を求める事業である。委託先は、現在未定である。

コミュニティ助成事業は、尾川地区活性化協議会、黒岩いきいき応援隊へ除草作業の軽減と効率化を図るためドローン導入や手押し型の草刈り機の購入補助金である。

全額が一般社団法人自治総合センターからの助成金である。

永田議員

問 財産管理委託料195万4千円は、どこの管理委託料か。

片岡総務課長 霧生ケ丘団地の動態観測の結果に基づいて、対策工事の必要が判明し、工事設計、積算業務を委託する経費である。

議案第46号 行政手続きにおける個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正

問 橋元議員 マイナンバー法に関わる条例改正だが、具体的な事例をあげて説明を求める。

片岡総務課長　R５年６月９日に公布されたマイナンバー法等の一部改正する法律により、条令の用語を改正する。

条例では、行政機関などが情報提供ネットワークシステムを利用する手続き、特定個人情報の内容を定めている。当町では、主に社会保障制度、税制及び災害対策の分野での運用となる。

具体的には、他の市町村からの転入の際、国民健康保険の被保険者であれば、国民健康保険税額算定するとき、情報提供ネットワークシステムで、収入所得の情報照会事務を行うことで、職員の手間を省き、行政事務の効率化を図ることができる。

議案第52号 物品購入契約の締結について（佐川町立図書館家具備品購入業務）

問　西森議員　昨年の尾川地区の議会懇談会で外国の絵本の要望が出た。

図書の充実について、特に子ども向けの絵本の購入はどうなっているか。

廣田教育次長　外国語の絵本については、利用者や町政の地区懇談会でリクエストを受けた。図書館の基本理念のひとつインクルーシブの観点からも増書の計画をしている。R５年度54冊、R６年度は100冊購入予定だ。

事務局職員紹介

書記　高鴨　学

４月の人事異動で議会事務局に配属となりました高鴨と申します。

議会に携わる仕事ははじめてでありますが、円滑な議会運営できるよう議員の方々のお手伝いをさせていただくとともに、町民皆様に開かれた親しみやすい議会となるよう職務を遂行していきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

書記　吉田智哉

４月の人事異動で議会事務局に配属となりました吉田と申します。

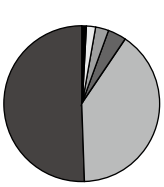
議会という大変重要な機関の事務局として、円滑に議員の皆様を補助していけるよう精一杯努力して参りますので、よろしくお願いします。

議員各位の意思表明

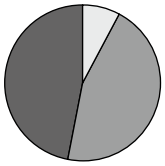
賛否表（令和６年６月定例会）　○：賛成　●：反対　－：議長　欠：欠席

	齋藤光	岡林哲司	山本和輝	田村幸生	橋元陽一	宮﨑知惠子	西森勝仁	下川芳樹	坂本玲子	森正彦	松浦隆起	岡村統正	永田耕朗	藤原健祐
令和６年度佐川町一般会計補正予算（第１号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
令和６年度佐川町国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
令和6年度佐川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
令和６年度佐川町介護保険特別会計補正予算（第１号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	－	○	○	○
佐川町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
佐川駅前宿泊交流施設の設置及び管理運営に関する条例の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
佐川町お試し滞在施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
佐川町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
佐川町放課後児童健全育成事業実施条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
物品購入契約の締結について（佐川町立図書館家具備品購入業務）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
工事請負契約の変更契約の締結について（佐川町立図書館）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
工事請負契約の締結について（久万田堰農業水路等長寿命化事業改修工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
尾川・斗賀野辺地に係る総合整備計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○

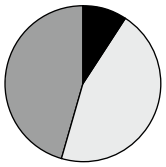
議会に関する情報を得る方法は？



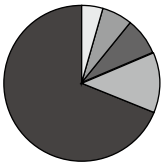
議会だよりを読んでいますか？



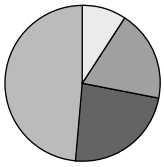
議員に意見や要望を伝えていますか？



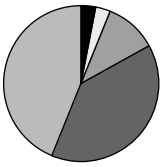
議会に町民の声が反映されていますか？



議員の定数（次回より 13 人）について



議会中継（ライブ中継）が始まったら



空き家対策【全地区】

①家が古く貸せない・建て直した方がよいレベルの家が多い。空き家の耐震化を。
②放置されて連絡がつかないなど登記もできないような状態の家が複数ある。
③空き家借用時に使える耐震化（約 130 万円 ※築年数など条件あり）、
リフォーム（270 万円 ※移住者向け）の補助金を周知してほしい。
⑤移住定住政策の前に、空き家の実態把握をするべきでは？相続放棄への対応も要。
⑥民間などを活用して空き家対策へ専門的な取組みをして欲しい。
⑦空き家を壊すのにも費用がかかり、固定資産税も上がるのが問題。放棄増える。

人口減少【全地区】

①農業で生活ができるようにするべき、基盤整備や機械化への取組み強化を。
②周りの地域からの流入があるが人口は減っている、もっと県と連動するべき。
③若い世代が働く場所がないことが、少子化の大きい要因となっている。
④宿泊施設が少ない、民泊・ゲストハウスなど空き家活用し交流を増やして。
⑤移住促進と同時に、地元の人が出ていかないような取組みが必要。
⑥外から人を呼ぼうと思うなら年収 400 万円以上ないと厳しいのでは。
⑦公務員で町外から通っている人が多いのはどうなのか。

道の駅【全地区】

①トイレが最大の課題、子どもを連れて遠くのトイレに行かねばならない状況は最悪だ。※全５地区の全テーブルで課題に上がりました。
②霧生関のトンネルが狭く、子どもにもドライバーにも危ない。早急に改善を。
③日影が少ない、遊具公園にももっと日影が必要。公園の管理はどうなっている。
④駐車場がわかりづらい、臨時駐車場のバリケードは何か？国道へ出にくい。
⑤芝生広場に盛り土のステージを設置し、もっと頻繁にイベントを開催してほしい。
⑥まきのさんの名前がついているのに植物の販売が少なすぎる。
⑦地元佐川の産品が少ない、はちきんの商品も少ない。町がもっと支援を。

その他【全地区】

①黒岩中学校の利活用で廃校にならないと何にも話がすすまない。
②観光協会にチラシの設置を会員以外はダメと断られた。対応の改善を。
③議会の傍聴、配信など高齢者でも見やすいようにしてほしい。
④町のアマチュア無線の免許更新を、訓練や災害時につかえるように。

令和６年度 佐川町議会懇談会

佐川町議会として昨年に引き続き議会懇談会を町内５地区で開催しました。平日開催にもかかわらず、多くの住民の方にご参加いただき、ありがとうございました。テーマ別の懇談の中でいただいた内容のまとめと、アンケート結果を報告します。

※ 掲載スペースの関係上、いただいた貴重なご意見のすべてを掲載することができておりません。あらかじめご了承ください。

尾川地区【地域課題】

① 草刈りもされず放置された耕作放棄地は大きな問題になっている。補助を。
② 道路が狭く交通の便が悪い。災害時を想定すると迂回路が欲しい。
③ 子どもたちへ尾川に帰ってこいと言っても帰ってこない。独居老人が増えている。
④ 老朽化して危険なので、公民館横の古い滑り台などを撤去して欲しい。

加茂地区【地域課題】

① バイカオウレン祭り継続に向け、牧野の顕彰事業の補助金にかわる制度を。
② 仁淀川沿いを自転車で回る『仁淀ブルーライド』への参加取組みをしてほしい。
③ あったかと集落支援員それぞれの役割を明確にし、うまく機能するように。
④ 越知町、仁淀川町のように入札経過を住民がみられるようにしてほしい。

黒岩地区【地域課題】

① 柳瀬川から仁淀川本流への合流エリアの河川改修工事を早く進めて欲しい。
② 人口減少、高齢化、耕作農地の放棄が大きな問題になっている。
③ 交通の便が悪い。(介護認定を受けてタクシーチケットをいただいても)
④ 議会傍聴にも行けていなくて、町の事業についてよく知らない。

斗賀野地区【地域課題】

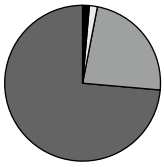
① 基幹産業である農業の支援策などで、若い世代の生業づくりの検討を。
② PTA と自主防災組織を一緒に動かすしくみづくり、継続した避難所訓練の検討を。
③ 認知症や要介護認定の利用者が増えて、あったか単体での対応が厳しい。職員増を。
④ 高齢化で自治会長のなり手不足、担い手不足で地域のつながりに支障が出ている。

佐川地区【地域課題】

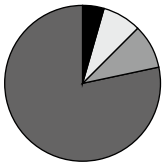
① 若者や、自治会への加入者が減ってきた、ごみ捨てルールが守られていない。
② 防犯灯の設置補助制度の改善が必要。太陽光で発電できる防犯灯の検討を。
③ 町の臨時職員など 15 万円では家族も養えない。地域のチカラの底上げを。
④ 地域の維持管理・草刈り、住民頼みになっている。民間委託利用の検討を。

議会懇談会について

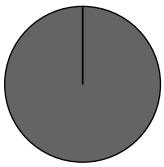
１．内容について



２．時間について

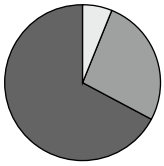


３．今後も必要と思いますか。

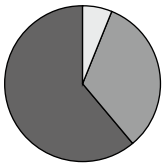


町議会の現状について

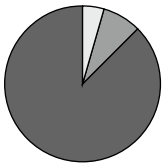
１．議会の役割について



２．議員の役割について



３．議会への期待について



西森　勝仁　議員

問 家の下敷防止対策はどうなったか

答 改修補助制度を改める

問　今度来る南海地震は、阪神の50倍、東北の11倍とも言われている巨大地震。佐川町の被害想定は全壊家屋1400棟、死者は90人。

三月議会で、家の下敷きになって命を落すことのないよう、一部屋だけの耐震工事にも補助金を出すことを検討すると答弁があっていたがどうなっているのか。

また、住民への啓発はどうなっているのか。

吉野建設課長　耐震シェルターは、国県に補助制度がないので難しいが、二階建ての家の下敷から命を守るため、一階だけでも耐震化できる補助制度に改める。

片岡総務課長　現在、講師を選定して、9月には防災講演会を開催する。

地震災害イメージ

問 孤立集落調査にドローン活用を

答 災害時に活用できるドローンを購入したい

問　大災害が起これば、町内の道路は、落石や山崩れなどにより寸断され、孤立集落が出て来ると思うが、こうした時、町長は被災状況をいち早く把握し素早い対応が求められる。

このためには、現場をリアルに目視できるドローンの活用が一番と思うがどうか。

片岡町長　災害時のドローン活用は、情報収集手段として大変有効と考えているので、災害時などに活用できるドローンを購入したい。

ドローンで見る黒岩平野

問 ぐるぐるバスのデマンド化は

答 検討はしている

問　人口減少が続く中、ぐるぐるバスは移動手段のない人達が利用していると思うが、乗車一人当たりに要する経費が2千259円かかっている。

このため、経費を節減し利用者を自宅から直接目的地まで運ぶことが出来る、エリア型のデマンド（予約）制にシフトし、デマンドタクシーを導入できないか。

岡田まちづくり推進課長　現在のぐるぐるバスの方式（路線型）は、町の人口規模や集落の状況から選定されたものだが、人口減少などに伴い、地域のニーズも変化しているので、郊外線のデマンド化について検討している。

バスは大切な移動手段

坂本　玲子　議員

問 特別養護老人ホームで看取り制度導入を

答 どうすれば導入できるか検討していく

問　佐川町の後期高齢者の73％が夫婦2人か単独世帯となっている。特別養護老人ホームでの看取り制度導入で施設の稼働率が上がり加算で収入も増える。又入所者、家族の満足度も上げられる。

尊厳をもって自然体で最期を迎えたい人のため特老での看取り制度導入が必要ではないか。

岡﨑健康福祉課長

特別養護老人ホームでの看取り制度導入は利用者の人生の最期に関わる重要な業務である。導入には様々な検討や調整が必要になる。春日荘については、経営戦略の策定を通じて、事務組合及び他の構成2町と協議をしていきたい。

春日荘玄関

問 訪問看護ステーションの設置を

答 現行体制でサービスの充実を図っていく

問　訪問看護ステーションの設置は高齢者のみならず、重度の障害者を在宅で看る場合にも大いに役立ち安心を与える制度だ。

佐川町民が安心して地域に住み続けられるよう、訪問看護ステーションを設置していく方向で努力すべきだ。

宮本高北病院事務局長

高北病院では訪問看護師を3名に増員し緊急性の高い患者に対しては、休日夜間でも対応できるようにしている。

訪問看護ステーションの設置は財政面で厳しく当面現行の体制で訪問看護サービスの充実を図っていきたい。事業費を確保できることになれば検討したい。

訪問看護はとても安心

問 会計年度保育士の処遇改善を

答 総務課と協議をする

問　保育士は子どもの命を預かり未来を預かる大切な仕事だ。保育士不足も深刻だ。

今年度、あったかの職員の賃金が上がり、正当な評価がされたと思う。しかし会計年度保育士は国家資格があるにもかかわらず、あったかコーディネーターと比較して初任給も上限賃金も低く抑えられており適正ではない。

会計年度保育士の初任給や上限賃金を上げ処遇改善をすべきだ。

岡﨑健康福祉課長

保育士は社会全体において重要な役割を果たしている一方で、保育士不足の一因として給与水準が低い事が指摘されている。

会計年度職員と委託先職員の賃金については均衡を図ることが必要だと思うが、会計年度保育士は、すでに処遇改善を実施しており、更なる見直しは役場全体の会計の会計年度職員の賃金見直しにつながるため、検討課題とし、総務課と協議をする。

その他の質問
・地球温暖化対策、着実な実行を

橋元　陽一　議員

問 住民基本台帳４項目をいつから自衛隊へ「提供」しているのか

答 平成26年度より紙媒体で「提供」

問　自衛隊が住民基本台帳の「閲覧」を始めたのはいつ頃か。その担当窓口はどこか。

「閲覧」から「提供」に変更したのはいつか。

誰から、どのような要請を受けて、町としてどの機関で協議し、決定したのか。「提供」の仕方はどういう形式か。町民にどういう情報提供をしてきているか。

町条例に基づき設置されている個人情報保護審査会に諮問したのか。

片岡総務課長

平成25年度以前の記録が残っていないので、正確な時期は不明だ。窓口は町民課であった。

「提供」を始めたのは、平成26年6月、自衛隊地方協力本部から要請があり、同年9月に町長が決定した。町機関では協議していない。

総務課が窓口となり、年度内に18歳になる町民の情報を紙媒体で「提供」している。町民には周知していない。

個人情報保護審査会には諮問していない。

※住民基本台帳４項目
・氏名・性別
・生年月日・住所

町民に同意を求めて

問 新産廃施設 地下水脈や湧水力所の変化は

答 確認されていない

問　新産廃建設の担当について、県の人事異動、町の課の統合で位置づけの変更は。また連携会議の要請は。

掘削したくぼ地への雨水の滞留や、地下水の水脈、湧水力所の変化はないのか。空洞は確認されていないのか。

国の補助金の確定状況はどうなっているか。

真辺住民課長

県の担当課での異動はない。エコ高知佐川事務所長が交代した。町は住民課が担当する。情報共有をしているので、連携会議は開催しない。

くぼ地に滞留した雨水はポンプで汲み取り、濁水処理施設で処理後に、水量を調節して排水していると。地下水脈や湧水力所の変化は確認されていない。空洞の確認は取れていないので、後日調べ伝える。

国の補助金は、今年6月時点で14億円に増額されているとのことだ。

本体工事の進捗状況は

その他の質問
・子どもたち生活リズム改善の取組みについて
・国土強靭化計画と県の特定利用港湾指定について
・懲戒委員会の経過と対応について

山本　和輝　議員

問 子ども服などの再利用について

答 リユースの取組を考えていく

問　子どもの使わなくなった子ども服など捨てるものがもったいなく、チャイルドシート、おもちゃの再利用の取り組みは、町内のごみの減少と子育ての充実につながる施策となると考える。

今後も商品の値上げラッシュが始まり、物価高、消費税の増税で暮らしが圧迫している町民も多い。

リユース可能な子ども服、おもちゃなどの再利用についての提供場所の開設を伺う。

岡﨑健康福祉課長

社会福祉の取り組みとしては、町民の方々から寄付のチャイルドシート、ベビーカーなどを無料で貸し出しを実施している。

町内の取り組みについて知らない方にも町民に周知し他の自治体、全国の取り組みを進めている自治体を参考にして将来的にリユースや取り組みが町中に広がっていく仕組みを考えていく。

こども服、おもちゃ等の再利用

問 霧生関トンネルの改良要望を

答 佐川町として強い要望をしていく

問　遊具公園が開園して、上郷方面から子どもたちが楽しそうに行くような光景も何度も見かける。

霧生関トンネルの幅の狭さで、歩行者や自転車が通行するには危険で、遊具公園の開園に伴いトンネルの改良もしくは歩行者用のトンネルの開設など、町の要望として国土交通省などに働きかけなどの執行部の考えを伺う。

吉野建設課長

道の駅がオープンし1年が経過しトンネルの現在の利用状況、道の駅遊具公園の今後の活用方針、公共交通のあり方、幅広い視点から交通安全対策の必要性や、対策手段の選定について国と具体的に協議を進めて参ります。

霧生関トンネルについて佐川町として強い要望をしていく。

狭い国道 33 号線の霧生関トンネル

問 6次産業の取り組みについて伺う

答 来年度の制度化に向け準備を進める

問　新商品開発の取り組みなど新商品や生産者の加工育成プログラムを高知大学の土佐FBCと連携し地域の食材を加工し価値を高め、価格、保存、流通など、多面的に有利に進め高知県の産官学と連携し、生産加工、流通販売などを総合的に繋がる専門人材を育成する教育を実施し佐川町の魅力づくりの検討をしてみてはどうか。

下八川産業振興課長

町内で生産されたものを活用して、新たな商品を開発する事業者が増えていくことは大変好ましいので、すでに助成を行っている自治体の事例などを参考にして来年度の制度化に向けて準備などを進める。

高知大学土佐 FBC　食で稼げる人になる

その他の質問
- 投票率上げる取り組み
- 遊具公園のトイレの設置を検討
- 遊具公園のミストシャワーの設置

宮﨑　知惠子　議員

問 国民負担率の高い昨今、町民の税負担の施策を問う

答 住民の福祉の向上と発展をさせたい

問　国民負担率とは、社会福祉の充実度合いをはかる指標のことで、令和5年度の数値は、46.1％の高水準となっている。
数年後には政府から受ける補助金も乏しくなり、町民の税負担も大きくなる。行政自ら将来のために有利に稼ぐ手だて、創意工夫をお尋ねする。

真辺住民課長
国民負担率の高さは社会的な不安要素として日本全体の課題で、佐川町でも具体的な支援策はない。

片岡町長
税の関係は国によって市町村に下りてくるため、町でできる事を実施しながら住民の福祉の向上と発展をさせていきたい。

問 人口減少に対する考えは

答 町独自の対策が必要

問　若者の定住化に向け、無償化というPR合戦が続いている。こうした競争の中では税収入の厳しい市町村では難しい。裏を返せば税負担を町民、国民に強いることになり、先行き限界がある。魅力化は別の角度から検討すべきだ。企業とのタイアップ、仕事の創出、雇用の創出、いきがいの創出を通し対策を図ることについてどう考えるか。

岡田まちづくり推進課長
佐川町は高知市への通勤圏域、道路の整備も進んでいる。JRも町内に5つの駅がある。県と連携した企業誘致や、ふるさと愛を醸成する「ふるさと教育」にも力を入れ取り組んでいる。

片岡町長
人口減少により税収歳入の減少が見込まれる中、社会保障関係経費は増加し、財政の硬直化が進行する。町においても独自の対策が必要と考える。いろいろ協議し、皆様からのご意見、ご提案を頂き協議していきたい。

産品が待たれる道の駅商品棚

問 地域の防災連携強化の対応は

答 近所で助け合う共助で、活性化に向けた計画を

問　西佐川駅付近の河川内に葦が生い茂り大木が生えている。川の増水などで不安があるが対策は。
また地域の防災連携強化の対応として、自分の住むところは自分達で守る姿勢があるべきと思うが対策は。

吉野建設課長
柳瀬川の管理は越知土木事務所の管理で、大きな樹木については洪水時に影響が高いため伐採する。

片岡総務課長
防災面では、共助の中心的存在の自主防災組織の活動活性化に向けた相談をする計画をしている。社会福祉協議会でも、おなかまプロジェクトイベントとして近所のつながりを大事にしている。

柳瀬川河川内の除木作業

問 移住促進・空き家対策に地域おこし協力隊を

答 取り組みを進めていきたい

下川　芳樹　議員

問　令和5年度から令和6年度で移住促進・空き家対策の人的な配置2名に変化はないが、職員数が少ない中で地域おこし協力隊に、これらの業務を担ってもらってはどうか。

また、移住者と町の資源をつなぐ、マッチング機能を持つ窓口を整備してはどうか。

岡田まちづくり推進課長

地域おこし協力隊の活用、取り組みについては、引き続き広くミッションを考えていきたい。

マッチング機能については、まちづくり推進課が相談対応を進めている。担当課以外の部署とも連携し引き続き取組みを進めていく。

空き家を活かそう

問 新図書館、行きたいけど行けないことが無いように

答 公共交通の利用、バス停の設置を進める

問　新図書館「さくと」は、新文化拠点として多くの町民に注目されている。

行きたいけど行けないことがないように駐車スペースや駐輪場、イベント時などの対応を問う。

廣田教育次長

駐車スペースは17台を確保している。

想定来館者数に当てはめて算出し、当初の13台から17台とした。駐輪場は当初の場所が危ないとの指摘を受け、正面入り口の北側軒下に変更し、サイクルラック調達と合わせて、20台から25台を確保できるよう想定している。

公共交通の利用についても、正面玄関前にバス寄せスペースを作り、バス停の設置を進めていきたい。

イベント時は、第2駐車場確保のために調査している。

問 霧生関トンネルの安全対策、開駅1年後の状況

答 県選出国会議員にしっかりと要望していく

問　霧生関トンネルの安全対策については、これまで2回質問した。

前回の質問では、開駅による交通量の変化を確認し進めていくとのことだったが、1年を迎えたその後の状況を問う。

片岡町長

国道33号の期成同盟会として、県選出の国会議員に年2回から3回要望している。

引き続き霧生関トンネルの歩道等について、しっかりと要望していく。

霧生関の安全を願う

その他の質問
・人口減少対策総合交付金の支出内容は
・霧生関トンネル、迂回できる遊歩道の設置を

齋藤　光　議員

問 学校給食現場での黙食の現状は?

答 現在、黙食の指導はしていない

問　新型コロナウイルス感染症の5類移行から1年が過ぎ、感染症者数や重症者数も低い数値で推移している。しかし、学校給食の現場では、いまだに前を向いて黙って食べる黙食が行われているように感じる。大人はもはや日常を取り戻し、楽しくワイワイしゃべりながらご飯を食べることは普通になっている。

現在の黙食の現状と今後の方針について問う。

また小中学校における給食を食べる時間は何分になっているか?

濵田教育長

昨年5月に感染法上の分類が5類に移行して以来、ほぼ感染症対策は平常に戻っている。また3密を避けるためグループでの活動を避けるようなことはしていない。

給食においても、黙食という指導はしていない。しかし子どもたちはまだ名残があるのか、黙って食べているところをよく見かけている。

学校生活を豊かにして、明るい社交性及び協働の精神を養う事が給食の目標のひとつになっている。

また給食の時間については、佐川小学校では準備を含めて給食の時間を40分と設定をし、食べる時間は20分となっている。ただし低学年は食べる時間がかかって、食器を返却する時間まで延長している子どもがいると聞いている。

佐川中学校では昼休みとして、給食も含めて50分を設定し、そのうち給食は準備と合わせて30分とってあり、大体15分で準備して、15分で食べていると聞いている。町内各小・中学校はほぼこのような時間設定となっている。

PTA による給食センター見学と試食会の様子

問 一周年を迎えた道の駅売上はどうだったか

答 想定を上回る結果

問　今月ちょうど1周年を迎える道の駅の、当初目標としていた数値と、実際の来場者数や売上などの数値を問う。

下八川産業振興課長

道の駅については、令和5年度物販部門での売り上げは1億8千万円を見込んでいたが、実際の決算では約2億3千万円となっている。

「はちきんの店」が約6千400万円、道の駅オリジナル商品である「バウムクーヘン」が約1千700万円の売り上げとなっており、「はちきんの店」に関しては前年度対比約130％の売り上げとなっている。道の駅での販売が大きく寄与したものだと考えている。

「はちきんの店」の売り上げの増加が、生産者の所得向上に直結するものになり、佐川町をはじめ、仁淀川流域の豊かな農産物特産品のPRにつながるものであると考えている。

テナント事業者の状況は、売り上げ決算額としては、3店舗で約1億2千万円と、想定以上の売り上げとなっている。これはテナント事業者の経営努力によるものが大きく、新たなメニュー開発やサービスの提供が、リピーターの獲得につながっていると推察している。

おもちゃ美術館では入館見込み、約2万2千人に対し、約5万7千人の入館と、想定の2倍を超える入館者数となっている。

道の駅 1 周年記念イベントでの餅投げ

問 自治会未加入率 27%、自治会存続のためのサポートを

答 参考事例を勉強し、取り組みを進めていく

岡林 哲司 議員

問 自治会の役割は、地域コミュニティーの強化、行政サービスの効率化、地域の課題解決、災害対応能力の向上など非常に重要。小さい自治会同士の合併や、自治会費の明確化など事例を紹介しサポートを。

また、街路灯の設置に関する補助額の見直しを。

防犯灯が少ない道路は危険

岡田まちづくり推進課長

各自治会に環境や風習の違いがあり、強制はできないが、希望があれば一緒に考えていきたい。

片岡総務課長

価格高騰が言われている。近年の防犯灯の申請書に添付された見積もり額を精査し、考える。

問 水野氏が暮らしたマリアウヴァ市との姉妹都市提携を

答 大変有意義と感じる まずは訪問を受け入れたい

問 牧野博士とも、交流のあったブラジル移民の父水野龍氏を顕彰し、牧野博士とも絡めて、相乗効果を狙っていけないか。

また、水野氏が晩年を過ごしたマリアウヴァ市との姉妹都市提携にはメリットも多い。ぜひ前向きにすすめていただきたい。

岡田まちづくり推進課長

小学生の副読本、サカワークでの紹介や、水野氏を顕彰する団体が活動しているので支援や連携など考えていく。

観光協会ではカフェパウリスタのコーヒーを販売している。今後について観光協会とともに検討していきたい。

片岡町長

マリアウヴァ市との姉妹都市提携は大変有意義な話であると感じる。

様々な分野で相互協力まで発展させることが目的である。

訪問するとなれば本当に多額の費用が必要なため、まずはブラジルからの訪問の受け入れをしたい。

県や関係者としっかりと協議し、進めたい。

うっそうとした記念碑の地

問 遊具公園、インクルーシブ遊具設置の意義について

答 障害の有無、年齢、性別等に関係なく楽しく遊べるもの

問 遊具設置の意義はなにか。またその意義に沿った公園になっているか。

多くの住民、利用者、そして議員からトイレの設置について声が上がっている。設置しないという方針の場合、丁寧な説明が必要ではないか。

トイレの設置を検討していないのであれば、トイレへの案内を常設で提示する必要があるのでは。

ふわふわドームのルールは他の公園を参考にわかりやすく掲示を。

下八川産業振興課長

意義とは「障害の有無、年齢、性別等に関係なく楽しく遊べるもの」。

トイレはあったらいいという要望、トイレ以外にも多数の要望がある。試算では10年間で約1億円かかるため、機会があれば住民へ「設置しない理由」を回答していく。

トイレの表示は不足があれば追加し、必要性に応じて常設の看板も検討していく。

ふわふわドームのルールの掲示にも取り組む。

ルールの掲示を分かりやすく

その他の質問
・行政報告について

高吾北組合議会

5月30日、高吾北広域町村事務組合議会定例会が開催されました。

議案は、令和6年度高吾北広域町村事務組合立特別養護老人ホーム特別会計補正予算の予算案1件、工事請負契約1件、高吾北清掃センター指定ごみ袋の売買契約の締結を含む売買契約案2件でいずれの議案も全員賛成で可決されました。

組合長の諸般報告の概要では、令和6年度からの経営改善について、経営戦略策定委員会が開かれ、特養は地域住民のため必要な施設で、地域住民のために維持していくことに注力することの重要性が説明され、併せて県からは経営戦略を図りながら予算確保をしていく重要性が説明されました。経営戦略の長期的な計画をたて、抜本的な経営改善に取り組むとのことでした。

一般質問

問 坂本議員（佐川町）

特別養護老人ホームで看取り制度の導入を

小田組合長 特養での看取り介護のニーズは高まってきている。以前、導入の検討もされた経緯はあったが多くの課題もあった。尊厳を守りながら十分な看取りができるかどうか、難しい判断もあるが今後検討していきたい。

中越春日荘所長 導入にはハード面ソフト面様々なハードルがあるが、人生の最期に関わる非常に重要な業務であり、十分な体制を整え、検討調整の必要がある。

日高村佐川町学校組合議会

6月14日、日高村佐川町学校組合議会が開催されました。議案は1件で教育長の選任同意案であり、佐川町加茂「岩本敏彦氏」が、満場一致で引き続き選任されました。

全国町村議会議長・副議長研修会

5月21日、東京国際フォーラムにおいて正副議長研修会が開催され出席しました。

研修の講師は大正大学教授の江藤俊昭氏、弁護士の帖佐直美氏、慶應義塾大学教授の谷口尚子氏で、「議員のなり手不足」「ハラスメント」「将来の議会議員を担うのは誰か」など、地方議会が直面する課題を多角的に捉え、紐解いていく研修内容でした。また今後、地域の「協働」が必要不可欠であると学んで来ました。

新図書館〝さくと〟完成間近！

6月定例会閉会日に、議会と執行部で建設中の新図書館〝さくと〟の視察に行きました。

中に入ると県産木材の香りが漂い、樹木の束で作られた大黒柱がそびえる、八角形をした天井の中央ひろばは圧巻です。また床暖房を組み合わせた空調管理システム、机やイスなどは図書館専用の備品が設置されていきます。

訪れるすべての人を温かく包み込み、未来のさかわを育む〝学び合いの広場〟として、開館する日が待ち望まれています。

追跡 あれはどうなったが？

あの質問のゆくえ

問　高校生までの医療費無料化を

県内74％の市町村が実施している少子化対策として、高校生までの医療費無料化を実施するべきだ。
2023年6月定例会坂本玲子議員
（他、橋元議員）

答　子育て世代の経済的負担が増しているので、本町でも前向きに検討する

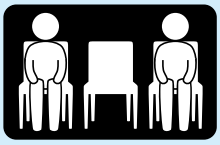
どうなった

2024(R6)年度当初予算
【42,707千円】
子どもの医療費保険適用の自己負担分の助成を、2024年4月より15歳から18歳に引き上げる。

あなたが選んだ議員の仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は9月6日（金）午前9時開会予定です。傍聴においでください。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため傍聴席に入場いただける人数を制限する場合があります。



編集後記

前回の議会だよりから「人口減少」をテーマとした特集が始まっています。数字を根拠として客観的に見ていくと容赦のない現実を突きつけられている感があります。

一方で私自身、都市部からの移住者ですが、地域おこし協力隊を含めた移住者は周りでも増えてきている印象をもっています。

今後、佐川町での生活環境の魅力などを上手く町外へ伝えていき、佐川町のことを知ってもらってファンを増やしていくことが大切だと思い、取り組んでいます。

議会広報編集委員会においても、その一助となるような活動をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

齋藤　光

議会広報編集委員会

委員長　岡林　哲司
副委員長　山本　和輝
委員　橋元　陽一
委員　齋藤　光
委員　田村　幸生

※わかりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。

昭和初期の黒岩小学校

昭和初期の佐川小学校

佐川町の人口のピークは昭和30年(1955年）の18,785人、当時は人口構成グラフが今とは違い三角形（若年層の方が多い）のカタチをしていた。ピーク以降、今日まで多くの若者が佐川を離れて都会での生活を選んできた。人口は令和6年７月１日現在で11,878人まで減っている。

人口減少が著しい中山間地域の活性化を目指し、高知県が令和６年４月より取り組みはじめた「高知県中山間地域再興ビジョン」の、施策の目標は以下の通りです。

【1】10年後に目指す将来像

地域に若者が増えた持続可能な人口構造のもと、デジタル技術の活用などにより、地域で安心して生活ができる環境が維持され、地域に多様な仕事があり、誰もが将来に希望を持って暮らし続けることができる、活力ある中山間地域。

【2】挑戦すべき重要な目標

【1】を実現するための目指すべき重要な目標として、次の目標を設定します。
令和15年までに、中山間地域のすべての市町村において①若者のうち、減少、流出の著しい34歳以下の人口について、令和4年(2022年)よりも増加を目指す。
②出生数について、令和4年(2022年)よりも増加を目指す。

【3】テーマごとの10年後の姿と数値目標

10年後に目指す将来像を実現するため、「若者を増やす」「くらしを支える」「活力を生む」「しごとを生み出す」の４つの施策の柱と、これらに共通する「デジタル技術の活用」の横串的な施策を加えた５つのテーマごとに、10年後に達成するべき姿と数値目標を掲げて取り組みを推進。

目標設定

まず、年少人口を維持するために、左ページの表の0-14歳までの年少人口1,184人を15で割り戻して算出される各年齢毎の必要年間出生数は79人となります。

続いて、社会増減の目標値を設定します。34歳までの若者人口を維持するためには、まず人口の流出を防ぎ、流入を増やすことが重要です。

年間流入目標：50人（新規移住者やUターン者を含む）
年間流出目標：-30人（流出を抑える）

年間必要出生数　79人
年間社会増減目標　+20人

現在の出生数や、社会増減を考えると、非常にハードルが高い数字が算出されました。次号、特集第３回では、議会広報編集委員の５人がそれぞれ、この目標を達成するために何をしていくべきか、アイデア出しの様子をお伝えしたいと考えています。

特集シリーズ
人口減少・少子高齢化
第２弾　現状の分析と目標の設定

令和4年の黒岩小学校

前号では佐川町の現状と、今後予測されている人口減少について、今後の 25 年間で約 3,000 人の減と、大変厳しい数字が示されました。

今回は、昨年末の佐川町の年齢別人口構成グラフを元に、現状の分析と、高知県が今年度より取り組む「中山間地域再興ビジョン」で示した「挑戦すべき重要な目標」を実現させるための目標値を試算してみました。

※条件付け次第で結果は様々変わります。今回は出生数と、社会動態（社会増減）をメインに考えました。

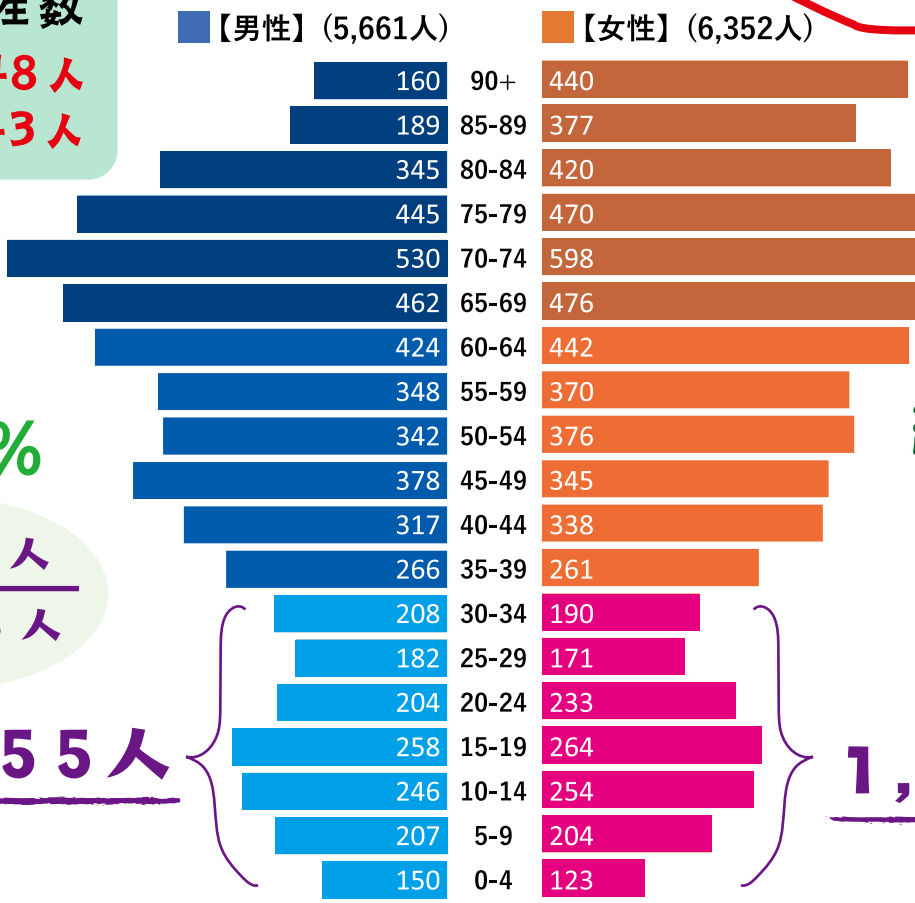
【佐川町の現状】

佐川町の出生数

2022年　48人
2023年　43人

2023年12月末の人口構成
12,013人

※現状の人口比率では出生数が単純に２倍になっても人口は減っていく



4,912人 / 12,013人

６５歳以上の高齢者人口は
約40.9%

35歳までの若者人口は
約24.1%

2,894人 / 12,013人

1,455人

1,439人

２０３３年にこの若者人口を保つことが大きな目標！

ちいきでがんばる

今回は、7月8日に尾川集落活動センターたいこ岩で活動する尾川地区活性化協議会代表の澤村重隆さんとキッチンやまぼうしの皆さまを取材しました。

尾川地区活性化協議会 キッチン やまぼうし

～活動を始めたのはいつ頃からですか～

集落活動センターたいこ岩ができるより前の、2013年秋に現在ピザ窯のあるところで作業をしていました。

最初は、馬路村へ視察に出かけたり、コンサルに助言を受けました。

～いつどこで、どのような活動をされていますか～

現在は6名のメンバーで、毎週火曜日にお惣菜の製造と、隔週の木曜日にはお弁当の製造販売をしています。

そのため、火曜日と木曜日は早朝から作業を始め、前日の月曜日と水曜日は下準備の作業を行います。

～活動の目標は～

尾川地区にお惣菜のお店が無く、一人暮らしの方たちに一品でもおかずを届けてあげたい思いで作っています。

さらに、卒業式や運動会・桜まつり・尾川秋まつりのお弁当作りと斗賀野地区で行われるたらふく祭りやバザールにも出店をしています。

写真手前が「きらず餅」、
奥が「ばっちゃん団子」

～お客さまの反響は～

お惣菜の中では、おでんがとても人気です。きらず餅は、地元の田村さんが作り始めたもので、有名な料理漫画でも紹介されたことがある尾川地区生まれの伝統的な餅菓子です。

かんたんな皿鉢も予約注文で受け付けています。

また、佐川高校や春野高校の高校生が体験実習に来られたこともありました。

～読者にひと言お願いします～

キッチンやまぼうしでは、昔ながらの料理や、地域の伝統的な料理にこだわり、製造し販売しています。

多くの皆さまにお召し上がり頂きたいと願っています。ぜひ一度ご賞味ください。

代表の澤村さんと、
5人の活動メンバーさん
※一人お休みでした。

あなたの周りで、佐川町の元気のためにがんばっている【組織やグループ】をぜひ紹介下さい。

尾川地区活性化協議会
キッチン やまぼうし
代表 澤村重隆
お問い合わせ
090-4787-3107

□発行／佐川町議会 □発行責任者／議長 松浦 隆起 □編集／議会広報編集委員会
□〒789-1292 高知県高岡郡佐川町甲 1650-2 □TEL (0889)22-7702 □FAX (0889)22-7385